

令和5年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立産業文化センター	所管課	文化・スポーツ振興課
指定管理者名	毎日興業株式会社	施設分類	市民文化系施設（集会施設）
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和7年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制（利用料金及び指定管理料）
導入年月日	平成21年4月1日	指定回数	4回
施設設置目的	市内の産業の振興と市民の文化の向上を図るため設置する。		
施設概要	【開設】平成5年11月1日 【延床面積】1119.9㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 【主な施設】多目的ホール、ギャラリー、会議室3部屋		
管理運営の基本方針	産業の振興と市民の文化の向上を図るため、市民の平等な利用が確保され、地域連携及びまちづくりに貢献する施設を目指す 利用者に安心、安全を提供するとともに、ホスピタリティあふれた快適な施設の提供		
指定管理者の主な業務	ホール、ギャラリー、会議室等の貸し出し、施設及び設備の維持管理、施設並びに付属設備の利用に関する業務 産業の振興と市民文化の向上を図るための自主事業		

評価項目

- 【評価基準】 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
4：要求水準を上回っている場合
3：要求水準を満たしている場合
2：要求水準を下回っている場合
1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	埼玉県で一番お客様満足度の高い産業文化施設にすることを目指し、人が集まる施設環境をつくるため、施設の運営管理や自主事業等を実施し、産業の振興と市民の文化の向上に努めた。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
館内の美化	令和4年度に壁紙交換を実施したホール・ギャラリー・控室に合わせ、廊下、壁等の塗装を実施した。	
安全対策	ホール座席の階段1段目の高さ不安解消の為、補助ステップ階段の設置や入口正面の階段の段差をはっきりさせるために蛍光テープで線を引くなど、高齢の利用者も安心して利用できるよう安全対策を実施した。	
自主事業の実施	夜間帯などの空き部屋を利用した自主事業を開催し、24種33講座を実施した。人気講座（空手・外国語など）はレベルに応じて2～3クラスを展開し、気軽に学習できる場を提供している。令和5年6月からふじみ野市音楽家協会の協力で毎月第3木曜午前にマンスリーコンサートを開催し、ギャラリーでのマルシェとともに好評となっている。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率55.4%で良好。前期からやや増加。キャッシュフローも問題なし。	4
その他特記事項	指定管理者としての組織体制は安定しており、市民の平等利用が確保されている。	

3 施設の有効活用

		利用区分等	予定（計画・目標） 単位		利用実績 単位 人		対前年比	年度目標達成率	評価
施設利用状況		多目的ホール	42,100	人	18,770	人	121.0%	45.0%	4
		多目的ギャラリー	32,500	人	12,276	人	103.0%	38.0%	
		第一会議室	5,300	人	3,706	人	124.0%	70.0%	
		第二会議室	7,800	人	6,450	人	86.0%	83.0%	
		第三会議室	8,300	人	6,277	人	93.0%	76.0%	
		(特記事項) ホール・ギャラリーを利用するイベントが増えてきているが、コロナ禍以前の利用実績には戻っていない。 10～12月に実施した第二会議室・第三会議室の空調機入替工事に伴い、利用制限を行った為、前年比を一部下回っていたが、全体としては前年比105.4%と増加した。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及びその理由				
	市指定事業	・施設の利用許可に関する業務 ・施設の管理運営及び付帯設備の維持管理業務 ・文化の振興及び産業の振興に資する事業			追加事業	・公共施設予約システムの更新対応			
					未実施事業	・産文主催のふじみ野市と共催イベント			
	自主事業	・自主事業文化系教室の実施（606回） ・自主事業健康系教室の実施（553回） ・フクトピアと共同で夏休み工作教室、貯金箱をつくろう ・フクトピアと共同で11月には産業まつりで共同出店			・ベビー＆キッズ用品フリーマーケット ・エッグアート ・アートクレイシルバー ・チアスクール ・ディスコ ・産文フェスタ ・ギャラリーコンサート				
利用サービス向上の取組		・館内全ての大便器を温水温便座対応に交換完了した。 ・令和4年度に引き続き、利用者サービスの一環として、ホール・ギャラリーの利用者向けに年度内で10回以上の有料利用があった場合、翌年度4月以降の利用を1回無料にする制度を実施した。 ・令和4年度に引き続き、ホール及びギャラリー利用時の椅子及び机の利用料金を、他の文化施設と同様無料にし、利用者への負担軽減を図った。							

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の 要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 ・実施時期 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで。 ・調査方法 施設利用者様に対し、アンケート用紙を配布して実施。 ・調査項目 ①スタッフ対応 ②館内外美観 ③施設の備品 ④販売商品 ⑤近隣施設と比較		
	(3) 調査、会議等の結果 ・調査結果（非常に）良いの評価の割合 ①スタッフ対応92% ②館内外美観96% ③施設の備品92% ④販売商品71% ⑤近隣施設と比較83%		
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	(1) 良好とする評価 ・スタッフが優しく対応してくれて、気持ちが良い。 ・清掃が行き届いていて清潔な感じがする。		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・受付横にアンケートボックスを設置して、投函できるようにしたが、苦情・改善等の要望なし。 《対応措置》		

5 事業収支

(単位：円)

	指定管理者収支（令和5年度）				市の収支				評価			
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算			令和4年度決算（前年度）		
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額	
①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	16,447,000	利用料金	13,666,300	歳入	施設使用料		施設使用料			
		事業収入	0	事業収入	0		行政財産使用料	42,548	行政財産使用料	39,551		
		指定管理料	5,854,000	指定管理料	7,849,150		国庫支出金		国庫支出金			
		雑入	10,000	雑入	8,413		県支出金		県支出金			
		自主事業からの充当	3,100,000	自主事業からの充当	2,350,878		その他	86,715	その他	86,715		
		計	25,411,000	計	23,874,741		計	129,263	計	126,266		
	支出	人件費	14,903,000	人件費	14,705,437	歳出	修繕料		修繕料	8,943,000		
		消耗品費	480,000	消耗品費	462,831		保険料	11,953	保険料	9,127		
		光熱水費	4,601,000	光熱水費	3,490,166		指定管理料	7,849,150	指定管理料	7,833,100		
		委託料	2,234,000	委託料	1,629,210		業務委託料	3,448,500	業務委託料	5,984,000		
		賃借料	710,000	賃借料	805,308		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料			
		通信費	389,000	通信費	191,020		工事請負費	75,777,650				
		保険料	25,000	保険料	17,081		備品購入費	768,900				
		修繕費	450,000	修繕費	75,328		その他		その他	85,625		
		事業費（市指定事業）	75,000	事業費（市指定事業）	0							
		公租公課	5,000	公租公課	6,206							
		一般管理費（本社経費等）	1,438,000	一般管理費（本社経費等）	1,438,000							
		その他	101,000	その他	37,739							
		計	25,411,000	計	22,858,326		計	87,856,153	計	22,854,852		
		収支	0		1,016,415		差引	△ 87,726,890		△ 22,728,586		
		②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	支出							
	③最終収支 ①－②	収支	0		1,016,415							
	●自主事業 収支	自主事業収支	収入	12,000,000	収入	11,556,935						
			支出	8,900,000	支出	9,206,057						
			自主事業収支	3,100,000	自主事業収支	2,350,878						
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								64.3%			
	事業収支における経営分析				利用料金収入は第二・三会議室の空調設備の修繕に伴う利用停止の影響もあったが、前年度と同程度となった。 また、文化施設としての均衡を図るため椅子と机の料金を無料にした影響額に対して1,410,150円を補てんしたこと等により、収支が改善した。							
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由											

6管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	4
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	館長 1 名、副館長 1 名、受付 3 名、清掃 2 名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項	築30年以上経過し施設及び備品が老朽化する中、令和4年度に壁紙交換を実施したホール・ギャラリー・控室に合わせ、廊下、壁等の塗装を実施したほか、備品においてはメンテナンスや収納場所の清掃等、素早く確実に使用できるよう再チェックするなど、適正な維持管理に努めた。			

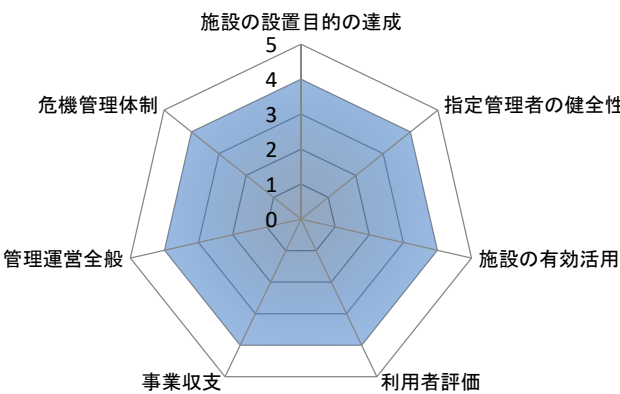
7危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	4
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項	利用者も高齢化する中、ホール座席の階段1段目の高さ不安解消の為、補助ステップ階段の設置や入口正面の階段の段差をはっきりさせるために蛍光テープでガイドラインを引くなど、常に利用者目線でサービスを実施した。		

総合評価

【総合評価】 A：とても優れている／B：優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

総合評価		市民文化系施設（集会施設）	
総合評価	評価項目	評価	
	施設の設置目的の達成	4	A 
	指定管理者の健全性	4	
	施設の有効活用	4	
	利用者評価	4	
	事業収支	4	
	管理運営全般	4	
	危機管理体制	4	
評価理由	自主事業においては、地域のアーティストなどと協働し新たな事業を積極的に企画すると共に、利用者のニーズに応じて好評の事業を拡充するなど、利用者の拡充及び満足度の向上に努めた。		
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	ステラ・ウェストのリニューアルオープンやステラ・イーストホール棟の整備工事が進められている中、産業文化センターは建設から30年が経過しており、計画的に施設・設備等の更新を行ってきた。 また、他の文化施設との施設・設備料金等の整合が課題である。	老朽化対策として、塗装での館内美化、全トイレの交換作業を実施した。 高齢者対応は細かい内製で対応できることから実施。	築30年以上経過して各所に老化が出てきて大規模な修繕が必要になるなか、指定管理者としては施設の立地上の好条件や小規模施設としての利点を最大限活かせるよう、人間力で特色を出していきたいと考えている。

指定管理者自己評価	
(1) 評価期間の取組に対する評価	
①サービス向上に向けての取組	
産業文化センターの設置理念に基づき、公平、公正にサービスを提供し、市民から信頼される施設づくりに取り組んだ。市民のニーズを把握・理解し、暮らしの満足度を高めるため、質の高いサービスの提供や適切な課題の解析を行い、その結果、以下の取り組みを実施した。 ア 申し込み翌日や当日の緊急利用に対して、自主の教室移動などで利用者様の要望をできるだけ考慮して対応した。 イ ホール・ギャラリーで年度内に10回以上の同一者有料利用があった場合、翌年度以降の利用を1回無料にするサービスを引き続き実施。 ウ 館内全トイレの便座を温水温便座に交換しました。	
②業務の効率化に対する取組	
ホールギャラリーで使用する備品類のメンテナンスや収納場所清掃、特にホールで使用するライト、電装品等のメンテナンスやクリーニング等、素早く確実に使用できるよう再チェック、コード類は長さを明記してねじれを取って巻きなおしをした。	
③その他	
ダンス等の最近の新しい利用に対しての対応に備えて、コンピュータ制御されたLED電飾装置を購入、演出でお客様の好評を獲得。	
(2) 管理業務実施上の課題	
平成5年開館以来、耐用年数超過、経年劣化しているものが多数あり、施設整備の維持管理における長期計画を具体的にしていく。	
(3) 次年度以降の取組	
変圧器(トランス)交換を含めた変電設備更新、舞台装置、舞台照明更新、ホール・ギャラリーのダウンライトLED化	